

請願第 16号

令和2年 6月22日

川崎市議会議長 山崎直史様

麻生区

片平町内会長

ほか 377名

都市計画道路「3・4・9号 尻手黒川線」に係るIV期事業区間の  
約680mの早期開通を求める請願

#### 請願の要旨

都市計画道路尻手黒川線は、全面開通まで残すところIV期事業になっています。全線開通に関して、直近20年以内での見解では、平成13年から始まった片平土地区画整理事業の実施において平成30年度の完成を位置付け、平成21年に事業認可取得されました。しかし、平成28年の第二次道路整備プログラムでは令和7年度までに完成予定と変更され、本市は平成30年に期間延伸の事業認可変更を取得しました。

このような計画遅延の状況の中、現在、片平地域で東海旅客鉄道株式会社による中央新幹線（リニア）非常口工事の準備工事が進められています。非常口本体工事は令和3年度に工事着手が予定され、片平地域を縦断する県道上麻生連光寺線を多くの工事用大型車両が通行することになります。

県道上麻生連光寺線の「仲町橋」から「柿生交差点」の間は、現在でも大型車両同士の離合困難な箇所があり、非常に危険な区間です。取り分け、当該道路は柿生小学校に接しており、児童の通学に危険をもたらす影響があり、ここに工事用大型車両が付加されることは、片平町内会としては到底容認できません。

このような喫緊の課題を解決するために、標記都市計画道路の「仲町橋」か

ら「片平2丁目交差点」間の早期開通を求めます。

#### 請 願 の 理 由

1 中央新幹線（リニア）は、東海道新幹線の将来の経年劣化と東海地震など大災害に対する備えのための大動脈の二重系化を目指すことで、言わば「国策」でもあり、このリニア事業に反対ではありませんが、片平地域が「安全・安心のまち」であることを維持確保するよう求めます。

2 非常口本体工事の開始により、最大一日（原則9：00～17：00）で土砂運搬大型車両が70台、コンクリート打設時にはコンクリートミキサー車160台が「柿生交差点」から「仲町橋」方向に通行することになります。この区間では大型車両はセンターラインをはみ出さなければ走行できない区間もあり、柿生小学校児童や歩行者が安全に通行することができません。

また、「仲町橋」から「柿生交差点」方向への車の慢性的渋滞（現在も交通量調査の結果「中村通公園」までの渋滞時間帯がある）が起こり、日常生活に支障を来しています。

3 「仲町橋」から黒川方面の片平地区内の同都市計画道路は、片平土地区画整理組合（平成19年解散）で築造し、一部用地の確保をしました。この区画整理組合解散時には、平成29年度末に「片平2丁目」交差点まで開通すると組合は説明を受けていましたが、実現されていません。

その後、区画整理組合解散後の同地区まちづくり組織「片平土地管理組合」で平成30年までの間に、再三、早期開通を要望していますが、用地買収を含めて顕著な進展が見られません。

4 この全区間の用地買収・着工を待たず、「仲町橋」から安藤齒科先の間は、県道上麻生連光寺線の拡幅区間なので工事が容易に可能であり、先行して部分的に完成する方法も検討されたい。

5 平成31年度には、麻生区町会連合会からの「対市要望」の一項目として要望していただきましたが、納得できる回答ではありませんでした。

紹介議員

橋	本	勝
山	田	晴彦
雨	笠	裕治
勝	又	光江
三	宅	隆介
吉	沢	章子
添	田	勝
重	富	達也
松	川	正二郎